

2025

# 同友しずおか5



VOL.558

「入ってよかった」「続けてよかった」「誘ってよかった」「企業も地域もよくなった!」



私の逸品

(株)トクラ

静岡県東部と伊豆の配送に  
特化した運送事業



静岡県中小企業家同友会



## 中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

### 同友会3つの目的

#### 1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

#### 2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

#### 3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の成功体験しか聞けない
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 指示待ち社員ばかり
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 将来の会社のビジョンができた
- 自発的な社員が増えた

その答え、  
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる  
悩み、解決へのヒント、将来への展望。  
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130  
〒420-0857 静岡市東区藤原1-1-1 FAX/054-253-7120 Email/doyu@doyu.or.jp

## ◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

### ◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

### ◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

### ◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の<sup>きょうじ</sup>矜持と努力を結集し、  
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

### 新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1077名

| 氏名                     | 社名・事業                         | 所属支部 | 紹介者   |
|------------------------|-------------------------------|------|-------|
| かつ また ゆう すけ<br>勝 亦 勇 介 | (株)ツタウェル<br>新聞販売、折込作成～配布、家電販売 | 富士宮  | 中野 雄貴 |
| そ ね あ さ こ<br>曾 根 安 紗 子 | ASAP<br>人の健康と地球の健康の推進         | 志 太  | 小寺 敬二 |

### 名義変更による新名義人 (敬称略)

| 氏名                | 社名・事業            | 所属支部 | 旧名義人  |
|-------------------|------------------|------|-------|
| ほり べ<br>堀 部 か す み | 三島信用金庫<br>金融機関業務 | 沼 津  | 佐野 千尋 |

※新会員の写真は e.doyu 「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyu からのご確認をお願い致します。





## 静岡県東部と伊豆の配送に 特化した運送事業

(株)トクラ (三島支部)

取締役副社長 原 彪翅氏



細井 崇史氏 (左)、原 彪翅氏 (右)

伊豆半島の付け根にあたる駿東郡清水町に本社・共同配送センターを構える(株)トクラ。父であり創業者の原衛氏から2024年度に名義変更し、現在三島支部に所属している原彪翅(たけし)氏にお話を伺いました。

**地域に根ざし、進化を続ける(株)トクラの歩み**

1969年に父である原衛氏が個人事業として創業し、1981年に徳倉産業運輸(株)として法人化されました。当初は運輸業を中心に展開していましたが、倉庫配送センターを開設し、物流体制を強化しました。1997年には販売事業に参入し、フランチャイズ事業を開始。徐々に拡大を続け、現在ではサティワンアイスクリーム、タリーズコーヒー、久世福商店と3つのフランチャイズ事業を静岡・神奈川・東京で展開しています。2017年には(株)トクラに社名変更し、静岡県東部に特化し地域に根ざした運輸事業と、3県にまたがる販売事業の2本

柱で進化を続けています。

### 地域密着型物流の進化

原衛氏が個人事業として創業した(株)トクラは、「お客様の要求に対応できる物流関連事業構造を作り出し、静岡県東部とその隣接地域を事業拠点とする」という理念のもと法人化しました。現在は、静岡県東部と伊豆地域に特化した運送事業を展開しています。

今後は、働き方改革に対応し、労働時間や休日、待遇面の改善を図り、社員が快適に働ける環境を整えることで、会社の持続的な成長を目指しているといいます。原氏は「安全輸送に対する社会の期待に応えるため、輸送と業務の効率化を進め、無駄な経費を削減し、お客様、社員、会社のすべてにとって持続可能な環境の構



柔軟な対応力が強み

築に取り組んでいきたい」と話してくれました。経営理念に掲げる「人(お客様)、第一主義」。今後も「人と人」を大切にし、地域社会に貢献し続ける企業を目指します。

### 多機能性で支えるトクラの物流力

今回の「私の逸品」は、創業以来50年以上に亘って静岡県東部の運送会社として培ってきた地域密着型の柔軟な対応力と効率的な配送体制です。静岡県東部と伊豆地域を中心に、複数のメーカーの商品を集約し、エリアごとに仕分けて配送する共同

配送システムを導入しています。これにより、輸送品質を保ちながらコスト削減を実現しています。さらにベテランドライバーによる安全運転と、定期的な研修を通じて、サービス品質の向上にも注力しています。地域の生活に寄り添い、地域に必要とされる企業づくりを垣間見ることができました。

取材・記事・細井崇史氏  
(花屋Marley・三島支部)

#### (株)トクラ

〒410-0012 沼津市岡一色197-1

TEL: 055-955-9100

URL: <https://www.tokura-ds.co.jp>

設立 1981年

社員数 636名(アルバイト・パート含む)

入会年月 2024年8月

事業内容 運輸・物流事業・販売事業(フランチャイズ運営)

会員訪問記

同友会で学び、より良い社内環境づくりと  
新たな事業展開へ

(株)ファクトシステム  
代表取締役 加藤登久氏（富士支部）



加藤 登久氏（右）

(株)ファクトシステムの代表取締役である加藤登久氏の会社を訪問しました。同社はソフトウェア開発を行っており、主に製造業向けの生産管理・在庫管理・工程管理・設備管理を行うソフトウェア開発をしています。

リーマンショックで業績が悪化。他企業の対策を学ぶために入会。

入会のきっかけはリーマンショック。業績が悪化し、他の中小企業の経営者はどのように対策しているのかを知りたくて同業者で富士支部会員の小林修氏（(株)ジープロシューマーズ）に相談し

たところ、同友会の存在を知りました。リーマンショックの際、加藤氏は深刻なほど悩んでいましたが、同友会で多くの経営者に会う中で、加藤氏が思っているほど悩んでいる人は多くないことに気が付きます。むしろどつしりと構えている経営者が多く、周りの経営者の姿を見て気持ちが楽になったそうです。

労使見解を学び、社員との信頼関係を築く

同友会に参加する中で、支部の例会企画委員長、副支部長、支部長、相談役と様々な役職を歴任。今年度から富士支部の共同求人委員長に就任しました。役を経験しながら同友会で学ぶ中で、社員との関わり方が変わったと言います。入会以前は社員との関わり方がうまくいかず離職率も高い状況でした。そんな中、同友会が提唱する労使見解を勉強し、社員と接する姿勢を変えたところ、社員との絆



社員が誇れる会社に

役を担うことで自身の成長へ繋げる

支部長を経験し、様々なことにおいて自身の中で覚悟ができたとか加藤氏。役を担うと会社・同友会において果たすべきことも増え、判断するスピードが鍛えられました。また時には人に任せることも必要に。そういった経験が自身の成長に繋がったと話します。

社員がファクトシステムで働くことを誇れる企業に

加藤氏はこれまで社員が働きやすい環境づくりに注力してきました。若手社員がコミュニケーションを遠慮がちになってしまいうる囲気を改善すべく着手した結果、先輩後輩関わらず声掛けする雰囲気ができ、業務もスムーズになりました。



主に製造業向けのソフトウェア開発を行う

(株)ファクトシステム

〒416-0946 富士市五貫島942-7

TEL : 0545-66-0883

URL : <https://www.factsystem.co.jp/>

設立 1996年

社員数 8名

入会年月 2009年7月

事業内容 ソフトウェア開発業



QR\_会社URL

取材・記事：渡邊正仁氏  
(南丸之工務店・富士支部)

した。今後の企業づくりにおいては、社員がファクトシステムの社員であることを誇れるような会社にしていきたいと話します。「IT業界の仕事は、大きなプロジェクトの一部を担うことが多い。大事な仕事だが社員自身がお客様の役に立てている実感が得にくい。社員がお客様のお役立ちを実感できる事業も考えていきたい」と加藤氏。地元中小企業に寄り添い、ソフトウェアで問題解決に寄与できる事業展開を考えていると展望を語ってくれました。



会員訪問記

忘れられていた経営理念とともに、  
次なる挑戦へ

(株)永幸

代表取締役 中村 敬子氏 (志太支部)



永幸の歴史をかざるパッケージ



社長室から出てきた同友会の軌跡

(株)永幸は明治22年、菓子屋の貼箱を製造・販売する「玉川屋」として創業。戦後には、貼り箱に加えてお茶缶用の紙管の開発にも着手し、贈答用の紙管パックや粉チーズのパッケージなど、食品向け包装資材の分野を開拓。お茶、うかんや遠州名物だんご、地ウイスキーの包装へと展開を広げてきました。異業種分野では工業用ダンボールリールを安価に提供し、端子部品の巻き芯として高い評価を得ています。

2024年10月、現代表・中村敬子（たかこ）氏が父・井出景逸氏の急逝後、異業種から副社長として入社し、代表取締役就任。方向性を見失いかけていた社を再建すべく奔走しました。「父は家庭で仕事の話をしない人で、会社の実態も知らなかった」と中村氏は語ります。

同友会は女性経営者からの紹介で入会

そんな中、三協紙業(株)の松下恵

美子氏（静岡支部）から同友会を紹介され、NEXT50にオブザーブ参加したのを機に入会。社長室で父の同友会活動の写真や経営理念が見つかり、「まるで導かれるような感覚でした」と振り返ります。現在はその理念を社員と再共有しようとしています。

経営者として心に期すもの

「製造業は開発をやめたら終わり。夢を持ち、地味でも安定した仕事を続けながら新しいものを生み出し続けることが大切」と、父の友人からの言葉が心に残っているそうです。今後は開発力をマーケティング支援に活かし、展示会出展や新しい包装形態の創出、売上の多様化を目指します。また、「人材の適材適所や、コロナ禍で中断していた忘年会の再開など、社員同士が安心して関われる環境も整えたい」と語ります。

今後の展望

「同友会についてはまだ学び始めたばかりですが、人を大切にす



中村敬子氏（中央）と取材陣

(株)永幸

〒426-0013 藤枝市立花3-6-33

TEL: 054-644-1134

URL: <https://www.kk-eicoh.co.jp/>

創業 1889年（明治22年）

社員数 50名

入会年月 2025年1月

事業内容 印刷紙器・紙管・工業用ダンボールリール等企画・製造

取材・記事・村松繁氏  
(アイマーク(株) 志太支部)  
撮影・赤堀昌也氏  
(akgm&co. 志太支部)



ロケットが目を引いた展示会



## 県共育委員会主催 合同入社式・若手社員一泊研修を開催

### 計11社24名が社会人としての 自覚を身に付け、仕事の基本を学ぶ

合同入社式 4月1日(火)  
会場：クーパーホール会館

県共育委員会主催の合同入社式を開催し、会員企業8社より計18名の新入社員が参加しました。冒頭、共育委員会より塩見康平副委員長(株)オミプランテック・榛南支部)が挨拶。参加者への祝辞と共に「中小企業だからこそ、一人ひとりの力が会社の



合同入社式 集合写真



先輩社員メッセージ



記念講演 関 那積氏

成長に大きく関わります。主体性を持ち、仲間と協力し、社会に貢献できる人材として共に成長していきましょう」と述べました。続く記念講演では関那積氏(株)中部特機設備・静岡支部)より、自身の経験をもとに働く上での心構えを伝えエールを送りました。

「働く理由は何ですか?」と新入社員に投げかけ、「その答えは『経営理念』にあるのではない。ぜひ経営理念を読み返し、心にとめて仕事をしてほしい」と語りました。また、「自分のなりた姿や夢を持ってほしい。きつと大変な時に乗り越える力になる」と話しました。先輩社員からのメッセージでは、2024年に入社した清水優月氏(あおいそら(株))より「働くことに自信を失ってしまった時期もあったが、初心に立ち返り、自分の好きなことを生かし新たな挑戦をしたことで、自分の強みとリーダーシップを発揮することができた」と逆境を乗り越えた自身の経験を語りました。その後のグループ討論では、社会人に

とって大切なことについて話し合い、その後新入社員を代表してMYA SHWE SIN氏(山本電機(株))より「母国のミャンマーは地震で大変な状況にあるが、家族と国の役に立てるよう仕事していきたい」と抱負を語りました。今回初の試みとなる立食形式の昼食会も開催し、参加者同士の交流も深まった入社式となりました。

若手社員一泊研修 4月1日(火)～4月2日(水)  
2日目会場：パルシェ会議室

合同入社式に引き続き若手社員一泊研修を開催、会員企業7社より17名が受講しました。一日目は杉山静江氏(南声)を講師にむかえ、接客応対や言葉づかい、電話応対などのビジネスマナーを学びました。第2部では須山由佳子氏(南キャリア・アツプ・浜松支部)を講師に、新聞紙を使いチーム単位でペーパータワーの高さを競い合うチームビルディングの研修を通して、チームで成果を出すために大切なことを学びました。二日目は引き続き須山氏を講師に、コミュニケーションの重要性や信頼される社員になるための「報告・連絡・相談」を学びました。参加者からは「元氣なあいさつと笑顔は欠かさず実践していきたい」「迷った際には自己解決せず必ず周りに相談すること、正直に言うことを意識したい」などの感想が寄せられ、二日間を通して同じ地域で働く仲間と共に社会人としての基本を学びあう研修となりました。



研修で「報・連・相」の基本を学ぶ

## 県広報情報化委員会 IT化・DX化アンケートのご協力のお願い

県広報情報化委員会では、加速するIT化・DX化に中小企業も対応していくべく、定期的に全会員対象のオープン勉強会を開催しています。

今後の勉強会等の企画の参考にさせて頂きたく、会員の皆様に向けてIT・DX化の取り組み状況についてのアンケートを実施いたします。E-doyuのアンケート機能もしくは記載のQRコード(Googleフォーム)より、ご協力のほどよろしくお願いいたします。ご回答いただいたアンケート内容は今後の委員会活動に役立てさせていただきます。



県広報情報化委員長 藤本 浩



# 全11支部で定時総会を開催

## 2支部で正副代表理事による記念講演、4支部で新支部長が誕生

4月8日の静岡支部総会を皮切りに各支部で定時総会を開催し、4月25日の沼津支部総会をもって11支部すべての総会が終了しました。総会では2024年度の活動を振り返り、2025年度の方針を支部長より発表しました。また、富士支部と富士宮支部では正副代表理事による記念講演を行いました。御殿場、富士宮、静岡、榛南の4支部で新支部長が就任、新たな役員体制で新年度をスタートしました。総会終了後は懇親会で会員同士の交流を深め、活気あふれる新年度の幕開けとなりました。総会の内容を紹介しします。

### 御殿場支部

御殿場支部総会では、大川隆久氏（フエタ工業㈱）が新支部長に就任。役員体制も5名の新委員長が誕生するなど、大きくメンバーが入れ替わり参加者から盛大な拍手で期待が示されました。大川新支部長から「中小企業にとっては厳しい時代を迎えています。私自身、同友会と出会っていただけば、とつくに会社が無くなっていたかもしれない。前原前支部長からの意志を引き継ぎ同友会の学びを今一度振り返りながら活動を進めていきます」とあいさつがあり、記念すべき新年度のスタートとなりました。

### 富士宮支部

富士宮支部総会では鈴木高史氏（㈱鈴木製作所）が新支部長に就任。「魂ゆらの道に迷わず」を方針として掲げ、「大変革の



鈴木徹副代表理事による記念講演

時代に歩むべく道を見失いそうになったときでも、支部の先輩が作り上げてきた道に立ち戻り、軸がぶれることなく、迷わず進んでいきたい」と話しました。議事終了後は「そこまで言っちゃって徹ちゃん!!」と題し副代表理事の鈴木徹氏（㈱鈴木土建）による基調報告を行いました。「同友会理念にかなう企業になるためにも黒字であることがまず大事。また、昔は他社と比べることでライバル意識を燃やしていたが、相対評価ではなく絶対評価を基準にしないと幸せにはなれないと気付いた」と自身の失敗も含めた経験を赤裸々に話しました。最後に「使命・懸念・宿命の3つを大切にしてい、自分の使命を全うし結果として命が宿るような人生を生きたい」と力強く語りました。

### 富士支部

富士支部総会の基調報告では副代表理事の山崎かおり氏（㈱山崎製作所）が登場。「社員全員参加型の『みんなの会社づくり』」をテーマに、女性職人が少ない時代に会社を継ぐ決意をした経緯や社員とともに創りあげた今の会社の姿を報告しました。山崎氏の心には、事業承継後に社員アンケートをみて決意した「唯一無二の板金屋を目指し、社員の誇りを取り戻す」という強い思いが常にありました。そこから社員とともにドリムマップを活用して理念を作成。2015年に自社ブランド「三代目板金屋」を立上げ、2022年には新工場竣工し移転しました。会社にはご息女とご子息がおり、「今は事業承継にむけて心の事業承継に取り組んでいます」と山崎氏。同氏の報告から社員全員参加型の企業づくりを学びました。



唯一無二の板金屋にむけた実践を報告する山崎氏

### 静岡支部

来賓と会員あわせて70名を超える参加で開催された静岡支部総会。清水区で塗装業



静岡支部総会にて新役員紹介

を経営する久高洋司氏（㈱高栄塗装）に支部長のバトンが渡されました。静岡支部の2025年度スローガンは「挑戦の先に発展がある」情熱を燃やし、学び、挑戦し、発展しよう!と、久高新支部長より「失敗を恐れず、まず挑戦し、実践することで企業の発展につなげていきましょう」と、これからの企業づくり・同友会づくりへの思いを伝えました。

### 榛南支部

榛南支部総会では、新支部長に古川徹氏（㈱フルカワ）が就任、「変化を恐れず、会員相互の自主的交流から気付きと学びを」をスローガンに掲げ新年度がスタートしました。新支部長挨拶では古川氏より「古川徹トリセツ」と題し自己紹介を交えながら、「私一人の力だけではなく、支部の皆さんの力を借りて、同友会3つの目的に基づいた学びの場を創ってきたい」と力強く抱負を語りました。

# 5月・6月

## DOYU CALENDAR

5月16日(金)～6月15日(日)

|                   |                                                                                                                     |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月<br>16日(金)      | 第22期経営指針を創る会オリエンテーション<br>(19:00 同友会事務局&ZOOM)                                                                        |
| 19日(月)            | にじいろ共生委員会<br>(18:30 同友会事務局&ZOOM)                                                                                    |
| 20日(火)            | 県広報情報化委員会 (19:00 ZOOM)                                                                                              |
| 21日(水)            | 伊東例会 (19:00 ひぐらし会館&ZOOM)<br>沼津例会 (19:00 プラサヴェルデ)                                                                    |
| 22日(木)～<br>23日(金) | 中日本ブロック正副代表理事研修会in静岡                                                                                                |
| 23日(金)            | にじいろ共生委員会主催 中部地区関係機関との交流・意見交換会<br>(18:30 同友会事務局)                                                                    |
| 26日(月)            | 第4回フォーラム実行委員会<br>(18:00 ZOOM)                                                                                       |
| 27日(火)            | 総務財務委員会<br>(16:00 同友会事務局&ZOOM)<br>県例会企画委員会 (18:30 ZOOM)<br>県組織増強委員会<br>(18:30 同友会事務局&ZOOM)<br>三島例会 (19:00 三島市商工会議所) |

|             |                                      |
|-------------|--------------------------------------|
| 28日(水)      | 志太例会 (19:00 藤枝市文化センター)               |
| 29日(木)      | 県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)             |
| 6月<br>3日(火) | 県青年部連絡会<br>(19:00 同友会事務局&ZOOM)       |
| 5日(木)       | 正副代表理事会<br>(15:00 同友会事務局&ZOOM)       |
| 10日(火)      | 静岡例会 (19:00 ペガサート)                   |
| 11日(水)      | 御殿場例会 (19:00 エビスクエア)                 |
| 13日(金)      | 富士・富士宮合同例会<br>(18:30 富士宮市交流センター きらら) |
| 14日(土)      | 第22期経営指針を創る会①<br>(9:00 調整中)          |

《 あなたのスケジュールノートに  
必要事項をご記入ください 》



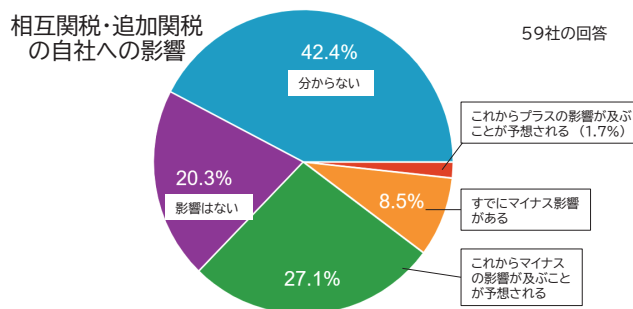
## ◆米国の「相互関税・追加関税」表明に関する影響調査 中間集計◆

4/18(金)～4/30(水)にかけて静岡同友会会員を対象に調査を実施しました。4/30(水)15:00時点で59件の回答をいただきましたので中間集計としてお知らせいたします。ご協力誠にありがとうございました。 静岡県中小企業家同友会政策委員長 山田尚子

●「自社への影響」は「わからない(42.4%)」が最多。続いて「これからマイナスの影響が及ぶことが予想される(27.1%)」、「影響はない(20.3%)」、「すでにマイナス影響がある(8.5%)」、「これからプラスの影響が及ぶことが予想される(1.7%)」の順となった。「すでにプラスの影響がある」との回答はゼロだった。マイナスの影響を受けるとの回答が合計で35.6%となり、プラスの影響を大きく上回った形となった。

●「どのような影響があるか」は「自動車部品の輸送をしている。自動車の輸出量が減少することが予想されるので、それに伴い自動車部品の輸送量の減少により、車両が減便になると予想する」、「自動車関連の荷主(部品製造業)の受注への影響、景気悪化による個人消費の落ち込みの懸念と、それによる貨物の動きの停滞懸念など」といった自動車関連業界を中心とした影響に加え、「大企業、特に関税の負担を強いられる一次取得層に関しての、賃上げの抑制などからのマインド低下による市場の冷え込み」、「景気悪化による個人消費の落ち込みの懸念と、それによる貨物の動きの停滞懸念など」といった消費マインドの低下による景気停滞による影響を心配する声が多くあがった。

●「相互関税・追加関税への意見」は、「外部環境は変えられないので、国内でお金を回す努力をしていくしかないと思う。政府には緊急性を要するものと、長期スパンで対応策を考えていくこととバランスよく両方やっていかないといけないと思う」、「単なる関税の問題だけでなく、回りまわって経済の至る所、社会生活の至る所に影響は多かれ少なかれ出てくると思われる。関係ない...という人、企業は無いことを肝に銘じて、動きを注視していきたい」など、報道ベースでも日々新たな情報が発信される中で、他人事ではなく自社に影響がある前提で考えていく必要があるとの声が多く寄せられた。



## 新事務局員紹介



田島 李里香 (2025年4月1日 入局)

4月から新卒で入局しました田島李里香と申します。本気本音で関わり合い、共に学び合いながら成長している会員・事務局員の皆さんに魅力を感じ、入局を志望しました。これから、会員の皆さまと交流を深めながら信頼関係を築いていきたいと思ひます。初めは至らぬ点も多いかと思ひますが、助言をいただきながらやりきる姿勢で努力してまいります。よろしくお願ひいたします。